

# 岩手県立久慈工業高等学校



創 立 昭和55年 4月1日

開校記念日 毎 年 5月4日

所 在 地 〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田第26地割62番17

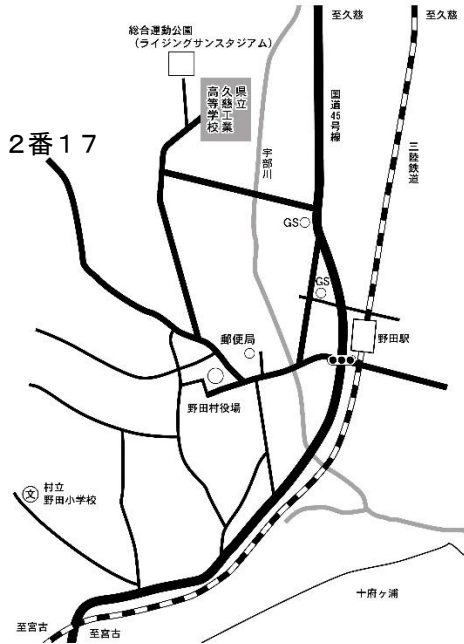
電 話 番 号 0194-78-2123

F A X 0194-78-4190

H P <http://www2.iwate-ed.jp/kut-h/>

交 通 機 関 三陸鉄道北リアス線 陸中野田駅下車徒歩 15分

校 長 名 藤原 徳久



## 1 設置学科等

課程	学科名	設置年度	令和3年度生徒数		
			1年	2年	3年
全日制	電子機械科	平成4年	13名	8名	14名
	建設環境科	平成19年	10名	11名	17名

## 2 本校の目指す学校像

本校は、工業教育を中心に、部活動、学校行事、資格取得など充実した教育活動をとおして、「元氣な挨拶と思いやりを心がけ、心身を鍛え合う生徒」を育て、生徒一人一人に力を付ける「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」を目指しています。

## 3 令和4年度の入学者選抜方法について

令和4年度募集定員及び選抜方法は、令和3年10月の決定後に掲載します。

《参考資料》令和3年度の入学者選抜方法（令和3年1月及び3月実施済み）

### (1) 推薦入学者選抜（令和3年度）

学科名	全学科（電子機械科・建設環境科）	定員	各科40人
募集定員	各科定員の10%（各科4人）		
推薦基準	<p>次の1～4の条件を満たした上で、5の条件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>本校の教育を受けるに足る能力・適性をもつ者</li> <li>基本的な生活習慣を身に付けている者</li> <li>志願理由が明確かつ適切であり、入学後の意欲的な高校生活が期待される者</li> <li>ものづくりへの興味・関心が強く、工業に関する機械操作や製作実習に意欲がある者</li> <li>次のいずれかに該当する者ただし、当該の活動を義務づけるものではない。 なお、(1)～(6)は応募資格Aに該当する。</li> </ol> <p>(1) スポーツ活動 : 県大会出場または地区大会3位以上の成績で主力選手として活躍した者、または、 それと同等の実力が認められる者</p> <p>(2) 文化・芸術活動 : 県大会出場、各種コンクール入賞等の実績がある者</p> <p>(3) 生徒会活動 : 生徒会役員、各種委員長を務めた者</p> <p>(4) ボランティア活動 : 継続的に活動した実績がある者</p> <p>(5) 資格 : 資格等を取得している者</p> <p>(6) その他 : 岩手県スポーツ特別強化指定を受けている本校ウエイトリフティング部に入部を希望し、3年間活動する強い意志をもち、次のいずれかに該当する者</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 運動部に所属し、県大会に出場し主力選手として活躍した者</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 新体力テストの成績がA段階である者</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 現在「いわてスーパーキッズ」に認定されている者</p> <p>&lt;本校にある部活動&gt; 運動部：硬式野球、ウエイトリフティング、ソフトテニス、ラグビー、バスケットボール、卓球、柔道</p>		

	文化部：吹奏楽、美術、料理、工学研究
検査内容	1 面接 個人面接（10分） 2 作文 600字以内（50分） 提示されたテーマについて自分の考えをまとめる
選抜方法	1 調査書（180点）：9教科の評定合計（1年45点、2年45点、3年90点） 2 実績（170点）：調査書及び志願理由書に記載されている実績 3 面接（100点） 4 作文（50点） <合計500点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する。
一次選考の有無	実施しない

## （2）一般入学者（令和3年度）

学科名	定員	選抜順序・割合（%）			作文	適性検査	傾斜配点
		学力検査：調査書					
		I	II	III			
電子機械	40名	A70	C30		無	無	無
建設環境	40名	A70	C30		無	無	無

## 4 特色ある教育活動

### （1）学習活動

- ア 電子機械科、建設環境科では充実したコンピュータ設備等を使用して、実習・製図・課題研究など多様な授業により生徒個人の適性・能力を伸ばします。
- イ 2年生では、久慈管内企業において3日間の就業体験（インターンシップ）を実施し、職場体験をとおして職業観を育成し、将来の進路の決定に役立てます。
- ウ 3年生では、個々の進路目標実現を目指し、進路希望に対応する選択授業及びコース制を実施します。  
電子機械科では3年生から「機械設計・自動車工学」または「電子回路・電子計測制御」の科目を選択して学習します。  
建設環境科では2年生から「環境土木コース」または「建築コース」を選択して各専門分野を学習しています。
- エ 各学科の特色を生かして、各種資格や検定の取得に力を入れています。  
(パソコン利用技術検定、3級技能士検定[普通旋盤作業・シーケンス制御]、2級土木施工管理技術検定、測量士補、建築施工管理技術検定、各種危険物取扱者、計算技術検定、漢字能力検定、英語技能検定など。)
- オ 高校の魅力化促進事業実施校として、地域連携による教育活動の充実により地域理解を深め、地域の将来を担う専門技術を身につけた人材の育成を目指しています。

～久慈工業高校の魅力アッププロジェクト～  
令和2年度 課題研究生徒発表会

優秀賞 電子機械科

「地域貢献活動を通して ～地域とつながる久慈工業～」

(車いす整備について)

- ・ 貧困により、車いすを購入出来ないアジア諸国に車いすを修理・清掃しプレゼントする「いわて車いすフレンズ」に参加する。
- ・ 3年間で学んだ技術を活かして、車いすを修理・清掃し、提供する。

(活動内容)

- ・ 悪路へ対応するためにパンクレスタイヤに交換する。
- ・ 古くなったグリスを新しいグリスに塗り替える。
- ・ 車いすの錆びなどを研磨剤できれいに磨く。
- ・ ひじ掛けの布とクッションスポンジを取り換え

(成果)

- ・ 車いすの細かい箇所錆取りやタイヤ交換などをし、2台寄贈できた。
- ・ 整備、清掃を通し、修理技術や、作業の大変さなどを学んだ。



(課題)

- ・ 新型コロナウイルスにより、贈呈式、老人ホームなどへの訪問整備、車いす修理講習会に参加できなかった。

～久慈工業高校の魅力アッププロジェクト～  
令和2年度 課題研究生徒発表会

最優秀賞 建設環境科建築コース

「勝手に40周年記念事業 ～セミナーハウスの屋根塗装～」

令和2年度校内課題研究発表会

「勝手に40周年記念事業 ～セミナーハウスの屋根塗装～」

1. 課題研究テーマの選定

- 1) 野田村から依頼を受けた物品の制作及び寄贈
- 2) セミナーハウスの屋根塗装

2. 実施内容

1) 野田村から依頼を受けた物品の制作

① 新生児誕生記念贈呈用幼児チェアの制作



② ライジングサンスタジアム壁面掲示用パネルの制作



③ 野田村総合運動公園テニスコート用ベンチ(16脚)の制作



※ ①：4月、②：5月、③：6月に完成し寄贈済み。

2) セミナーハウスの屋根塗装

- ①目的 本校宿泊施設の「セミナーハウス」の劣化した屋根を、自分たちで塗装する。

②作業

- ・ プロに学ぶー 屋根塗装の仕方や使う塗料の種類・量などを学ぶ。「小坂塗装」様(岩手県)より屋根塗装について技術指導。

・ 錆び落とし



サンダー：電動やすり  
グラインダー：電動研磨機

- ・ 下地塗装(屋根の仕上げ塗料を長持ちさせる)



- ・ 仕上塗装(雨・雪に耐える防水性・熱に耐える遮熱性が必要)



・ まとめ

ものづくりの原点を学んだ。

- ①作業して「楽しい」
- ②喜んでもらえて「うれしい」
- ③最後まで頑張り完成した「達成感」

生徒の育成目標  
地域連携による地域の将来を担う専門人材の育成

目指す学校像  
生徒の輝く姿が見える楽しい学校

## 1 地域の教育資源を活用した取組

### 1年生 地域理解と深い学び

①のだ塩工房の見学・塩づくり体験 (R2.10.14)  
野田村に古くから伝わる「のだ塩」の製造工程や歴史を学んだ。実際の塩づくりも体験し、村の伝統産業について理解を深めた。

アンケート結果

以前より地域の歴史や産業を理解で学んだか？

とてもできた	15%
できた	85%
あまりできなかった	0%
できなかった	0%

以前より地域の歴史や産業に興味を持ちましたか？

とてもできた	23%
できた	15%
あまりできなかった	62%
できなかった	0%



### 2年生 地域産業と工業技術

②琥珀博物館の見学・琥珀探掘体験 (R2.9.28)  
久慈産琥珀について見学・探掘体験をし、授業で学ぶ研磨加工や彫刻などの技術が現場でどのように生かされているかを学んだ。

アンケート結果

以前より地域の歴史や産業を理解で学んだか？

とてもできた	3%
できた	23%
あまりできなかった	74%
できなかった	0%

以前より地域の歴史や産業に興味を持ちましたか？

とてもできた	28%
できた	13%
あまりできなかった	59%
できなかった	0%



### 3年生 技術の深化と地域貢献

③ 玄関橋示板の製作  
村総合運動公園野球場の玄関橋示板を製作し寄贈した。

④ マスコットキャラの3次元構型  
マスコットキャラを3次元で設計、3Dプリンターで製作し寄贈。

⑤ 木製いす・ベンチの製作  
新生児童会記念椅子・村総合運動公園アニスコートのベンチを作成し寄贈。

⑥ 課題研究発表会  
中学生や保護者等と向き、1年間、課題研究で取り組んできた内容を発表した。

⑦ フェイスシールドの寄贈  
3Dプリンターで制作したフェイスシールドを久慈市・野田村等へ寄贈。

⑧ 医療従事者応援ポスターの寄贈  
美術部が医療従事者へ感謝のメッセージを伝えるため応援ポスターを作成し、村保健福祉課や病院等へ寄贈。

⑨ 復興教育講演会  
地域人材を活用し、被災地時代の状況、その後の復興についてお話を聞いた。

⑩ 環状点検装置  
県上層部と協働し、県内各地の環状の点検作業を実施。

⑪ 県産木材を活用した実習  
野田村から提供いただいた材を形材を使い、製作した木製イスを野田三村児童館へ寄贈。

⑫ 資格取得用機材の提供  
県電気工業会工業組合から電気工事士試験の練習用の資材の提供を受けた。

⑬ 地域理解職員研修  
久慈市歴史民俗資料館を担う職員の家内・説明のものと見学を実施し、地域の歴史や産業について研修した。

## 2 これまでの取組の継続と改善

### ① 小学生ものづくり体験教室 (R2.7.28)

野田小学校等の児童を対象としたものづくり体験（金魚こまの製作・蒸し餅づくり）を実施した。（参加児童30名）

アンケート結果

ものづくり体験教室は楽しかったか？

楽しかった	94%
楽しなかった	6%

参加して久慈工業高校のイメージはどうか？

いいイメージを持って貰った、初めて来たけど楽しかった	6%
いいイメージを持って貰った	94%
いいイメージを持ってもらえず、楽しなかった	0%
いいイメージを持ってもらえず、楽しかった	0%

### ② 小学生読み聞かせ (毎月第一水曜日)

図書委員が野田小学校で読み聞かせを行い、本や物語の魅力を伝えた。今年度で活動17年。

令和2年度 第25回 いわてユネスコ賞受賞

### ③ 中学生体験入学 (R2.7.29)

久慈市・野田村と連携し、無料シャトルバス（久慈駅・学校間）を運行。体験入学後に下宿先（えびし庄）見学（4名参加）を実施。（参加中学生82名（前年比32%増））

アンケート結果

入学しみたいと思ったか？

思った	9%
思った	3%
思っていない	94%
わからない	6%

参加して本校の印象はどうか？

いい印象になった	32%
よかった	68%
悪かった	0%
わからない	0%

### ④ 中学生体験入学 (R2.7.29)

久慈市・野田村と連携し、無料シャトルバス（久慈駅・学校間）を運行。体験入学後に下宿先（えびし庄）見学（4名参加）を実施。（参加中学生82名（前年比32%増））

アンケート結果

入学しみたいと思ったか？

思った	9%
思った	3%
思っていない	94%
わからない	6%

参加して本校の印象はどうか？

いい印象になった	32%
よかった	68%
悪かった	0%
わからない	0%

⑤ 野田村善行表彰受賞  
⑥ 出帆授業  
野田中学校でプログラミングの出帆授業を実施した。

⑦ 部活動等の活躍・地域連携  
ウエイトリフティング部 全国通信制協会 四投総大89kg級2位・依藤新乃介102kg級5位  
将手黒はばたき賞受賞 田代 航大  
バスケットボール部 久慈中・長内中と合同練習・練習試合で技術指導ものづくりコンテスト 大矢隆斗木材加工部副部長  
久慈地域生徒指導推進協議会努力賞受賞 田代 航大 大矢 隆斗

⑧ 連携に向けた意見交換会 (R2.11.12)  
野田村・久慈工業高校を守り育てる会・村教育委員会と本年度の事業や要望について意見交換を実施。

## 3 積極的な情報発信活動

① 報道機関等への情報提供  
新聞掲載 38件  
テレビ放送 5件  
のどくに広報等掲載多数

② プレゼンや資料の改善  
生徒の意見を収入れり  
校紹介プレゼンを改善  
・キャンパスツアーやQ&Aなど資料を作成。

③ 学校ホームページをリニューアル  
④ 中高連絡会の改善  
学校紹介内容を強化して学校をアピール

⑤ 高校説明会で技術をアピール  
各中学校で行われる表校明会で、工業技術のアピールのためホームページなどを寄贈。



## (2) 特別活動等

文化祭（久慈工祭）や校内体育大会を実施しています。運動部は、硬式野球部、ラグビー部、ウエイトリフティング部、卓球部、ソフトテニス部、柔道部、バスケットボール部があり、特に、ウエイトリフティング部はインターハイ、国体等の全国大会で入賞者を多数輩出しています。文化部は、美術部、吹奏楽部、料理部、工学研究部があります。

また、太陽光発電設備もあり学校で使用する電力に使用されているほか課題研究等の授業などの環境教育に役立っています。



## 5 校長からの一言

中学生の皆さん、本校は工業教育を専門とする高校です。昭和55年に県北沿岸地区唯一の工業高校として創立され、地域とともに歩みながら、令和2年度に創立40周年を迎えました。

学科は、電子機械科、建設環境科を設置しています。それぞれの特色を生かした専門教育の学びを通じて、自分を成長させていくことができます。また、部活動も盛んで全国大会に連続出場しているウエイトリフティング部をはじめ運動部・文化部ともに充実した活動を行っています。

在学中に磨いた工業の確かな専門力を武器に進路希望を達成しています。就職は企業の手厚い支援に支えられ、進路決定率は11年連続100%と圧倒的な強さを誇っています。工業系の4年制大学や短期大学校への進学も増加してきています。

近年、技術革新の進歩により女子生徒の採用を求めている企業が大変増えてきています。「我こそは」という女子中学生の皆さん、是非本校でチャレンジしてください。

久慈工業高校は、3年間の学校生活を通じて学力と人間力を身に付け、卒業後は立派な社会人として活躍できる人材の育成を目指しています。工業技術を身に付け、地域の発展に貢献したいと考えている中学生の皆さん、本校で自分の未来を切り拓きませんか。

本校の日常の活動や生徒の様子をホームページで随時お知らせします。引き続きご覧ください。

## 6 必要経費について

新入生（令和3年度入学生の場合）

■入学金 5,650円

■一括諸納金・各科教材費 50,860～51,468円（学科による）

■教科書・体育用具 38,448～39,353円（学科による）

■制服購入 男子 69,000円（内訳：制服上下1、替えズボン1、半袖開襟シャツ2、バッジセット1）

女子 67,500～77,700円（内訳：ブレザー・ベスト・スカート・ネクタイ各1、バッジセット1）

■諸会費（PTA会費・部活動後援費など）

口座振替により4月から翌1月までの年10回（1回当たり7,410円（年額74,100円））

## 7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- （1）平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- （2）この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- （3）一定の所得未満とは、保護者等の道府県民税と市町村民税所得割の合算額が30万4,200円未満（年収目安910万未満）です。
- （4）手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm)

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900円 定時制（月額）2,700円 通信制（1単位）190円